

2016 年 9 月 23 日  
株式会社みずほ銀行

**「イランの事業環境と日本企業の対応戦略」**  
**に関する調査業務受託について**

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）は、日本機械輸出組合が公募した「イランの事業環境と日本企業の対応戦略」に関する調査業務（以下「本調査業務」）に応札をし、このたび、採択されることが決定しました。

イランは、国際社会による経済制裁により、長らく世界経済から切り離されてきましたが、先般、経済制裁が解除されたことから、日本では、人口 8 千万人を超え、巨大な潜在市場を擁するイランビジネスへの関心が官民ともに高まっています。

本調査事業は、日系企業がイランでのビジネスを検討する際に必須となる同国の事業環境について現地調査を通じた情報収集・調査分析を行うとともに、日系企業に対してイランビジネスに関する対応戦略について提言を行うものです。具体的には、国内外の専門家と協働しながら、インフラ・物流に代表される事業環境分析、投資関連規制、イラン主要企業グループやアジア勢に代表される外国企業の動向、イランビジネスにおけるリスク分析、同国の産業政策やインフラプロジェクト計画等を調査・分析の上、提言を行います。

当行は、1975 年のテヘラン駐在員事務所の開設以降、現地情報の収集等を通じて、当地にて総合金融サービスを提供してきました。海外進出支援業務の蓄積によるノウハウとテヘラン駐在員事務所の知見を活かして本調査業務に取り組むとともに、本調査業務を通じ、イランに向けた日系企業の進出支援を推進し、日本・イラン両国の発展にも貢献していきます。

以 上